

(款) 10総務費 (項) 10徴税費 (目) 10賦課徴収費

◎徴収の経費

徴収事務

納税課

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市税の納税義務者等

意図 市税の安定収入を図るため、口座振替を推進し収納管理、税証明書等の発行を行うとともに、納期までに納付しない納税義務者に対し督促状を送付し、滞納整理事務、滞納処分を行うため。

効果 滞納整理事務を行うことにより、市税の安定収入に努める。

【事業の内容】

(1) 徴収事務

- ・課税証明書及び固定資産評価証明書等の交付事務、市税の収納管理及び口座振替の推進と口座管理等を行った。
- ・滞納整理支援システムを生かした滞納整理事務の推進を行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,691	16,017	15,766		251
主な支出内訳				
・ 徴収事務				
臨時的任用職員賃金				1,770
徴収用文具等消耗品費				2,419
証明書用紙等印刷製本費				1,772
CD-R作成業務委託料				447
不動産鑑定評価業務委託料				209
滞納整理支援システム改修等業務委託料				1,517
滞納整理支援システム機器賃借料				6,692
軽自動車備品購入費				940

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 総務-24 徴収事務 ☒ 支 援 部 門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	604 徴収事務							
主管課	納税課		関連課	市民税課 資産税課					
分野名	行財政運営								
目標 (目標値)	市税徴収率の目標を平成22年度に92.62%と設定しています(行政経営戦略プラン) 目標額としては、平成18年度から22年度までの5年間で8,5億円の増収を目標額としています。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	決算値	15,766千円	11,019千円	11,551千円					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	15,766千円	11,019千円	11,551千円					
	人員配置数	11.5人	13.5人	13.5人					
	人 件 費	107,769千円	126,001千円	124,277千円					
	協 働 の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	123,535千円	137,020千円	135,828千円					
	市民1人当 りの経費	700円	779円	776円					
	対象者1人 当りの経費								
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(22年度)		
市税全体徴収率	○	目標値	92.60%	92.61%	92.62%	92.62%	92.62%		
		実績値	92.48%	92.52%					
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市	三浦市
市税全体徴収率(%)	93.20	93.51	92.52	94.74	92.66	93.23	94.90	95.15	86.80
	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市	
	90.20	92.08	92.38	92.05	94.56	92.59	96.00	92.37	
(※鎌倉市は21年5月末データ、以外は21年4月末のデータ)									

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 1 早期着手 …… 新規滞納者を中心に、早期の滞納整理着手を重点的に行う。 2 累積滞納者への対応 …… 納付につながる折衝・催告を行うとともに、滞納処分を強化する。執行停止の集中的処理を行う。 3 未折衝滞納者をなくす …… 滞納者全件リストにより、徹底した折衝状況の進行管理を行う。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 1 早期着手 …… 現年度のみ滞納者に対して、早期に組織的な滞納整理を実施。 2 累積滞納者への対応 …… 過去の経緯や折衝記録をふまえ、短期間で集中的な対応をすべき累積滞納者を中心として、滞納データの分析により出された優先順位に基づき、折衝等を行った。折衝できない滞納者については、金融機関や他官庁等への実態照会により、財産調査等を行った。執行停止の集中的な処理を行った。 3 現年度滞納者への対応 …… 管理職による滞納者集中戸別訪問を実施し、納付の催告を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 1 財産調査の強化と滞納処分 …… 滞納処分をすべき件数は膨大で、限られた職員の中でいかに効率よく行うかが課題である。進行管理を徹底し、組織的、計画的、積極的な滞納処分を進めることが課題である。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 1 財産調査と滞納処分の強化 …… 給料や預金、生命保険など換価が容易な財産や、不動産のように発見しやすい財産を中心に差押えを行い、取立、公売などの換価処分を積極的に行う。県短期派遣職員制度を有効活用し、市税徴収率の向上に努めるとともに、市職員の徴収スキルアップを目指す。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	歳入の確保と市税負担の公平性の確保の観点から、市税徴収率の向上に努める。現年度分滞納者の早期着手と、累積滞納者への滞納処分の取組を強化する。		
担当課長氏名:		納税課長 金丸 新樹	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	滞納整理に積極的に取組み、徴収率の向上を図る。 財政計画(年1.7億円増収)達成に引き続き努める。		
担当部名	総務部	部長名	兵藤 芳朗